

日二廿 磐城時報

編輯者 田中 印刷所 磐城時報社 發行所 磐城時報社 廣告料 行字 請金五十銭

高級助役人選問題で 青沼町長進退兩難に陥る 猪狩氏起用を決意した以上 直往邁進の意氣を缺けば 事態極度に混亂せん

(昨報)平町の高級助役問題は青沼町長の意中元平署長猪狩清氏の起用と決定町會各派首脳部に...

舊主家を廻る 床しい松陸の集ひ 那須辨天温泉で總會

於いて高級助役設置案が可決されるや従來の紛糾に鑑みて町會各派首脳部に於いては信任したる青沼町長の女房役である以上...

那須辨天温泉で開かれ出席二十余名故星野會長の後任として 會長吉野健吉、副會長鈴木長三郎、會計川又章二、幹事新田...

新案蒲鉾の罐詰 水産試験場で成功 輸出向として期待さる

本縣の重要水産品である蒲鉾類は生産地江名町を中心とした小名濱、四倉等で年額二萬五千箱...

刑務所を出て 次の日から盗み廻る 茨城生れの男平書に檢舉

昨二十一日午前八時頃内郷村御十圓の他衣類數点を窃取したる...

故菅波翁盛葬 既報

長逝した初代四倉町長菅波長左衛門翁の葬儀は二十二日同町...

昔年の不夜城 今衰殘の鎌田遊廓 此處に見られる時代の動き 時局演說會 三十日に延期

パラソル 文字 麥帽 中野洋品店 初夏の服装品は

胡ソ泥檢舉 指輪時計を盗む 内郷村大字小島居住佐藤伊之松...

土地賣却廣告

一、平町字大町十番地 宅地五百六十四坪(分譲致します)
 一、同 五番地 宅地三百七十三坪四合 (同上)
 一、同 五番地ノ二 宅地百五十四坪 (同上)
 一、同字新川町三十三番地 宅地百九十三坪三合 (同上)
 一、同 十七番地 二百九十一坪 (同上)
 右至急賣却致します。御希望の方は左に御相談下さい。
 平町字大町四番地
中野勇吉
 電話一三三番

開業

診療科目

一、齒科一般
 補綴科
 矯正科
 小兒齒科
 齒槽膿漏科
 口腔外科
 二、レントゲン科

中野齒科醫院
 院長 日本齒科醫學士 中野 惠次
 醫學士 西川 誠

平町田町(松月堂向)
 電話五〇九番

石炭
 コークス
 炭ス炭



平驛前
阿部石炭商店
 電話三七番

ゼブラ自転車
 宮田自転車
 代理店

エビスヤ自転車店

逓信省御用 電話六六四番
 ◎小店員二名入用 眞面目で身体強健の者
 年齢、五歳位委細來談あれ

内科 小兒科
 花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋
 電話平園五〇七

化粧品、理髮器具
 クリーム、ポマード……ハカリ賣り

安全剃刀
 (付磁皮研動自)
 鏡衣白
 (種各國小大)



芳香園理髮器具店
 平驛前(電話六八〇番)

腸胃病性

内科
 胃腸病科
 花柳病科
 性病科
 泌尿器病科
 皮膚病科
 肛門病科

松村性病科醫院
 (番七〇一電町南町平)

磐城機械工業組合

晴れても雨でもさせる

晴雨パラソル

春の流行ハンドバック

ツルヤ

このパラソルは完全に防水加工して御座いますので雨が降つて参りました時は雨傘と兼用となります。御年配向。流行色。各色取揃えました

平四電話一四〇番

謹啓故安雄儀葬送の際は御多忙中にも不拘遠路の處御會葬被下且つ御鄭重なる御香奠を賜はり御厚志の段難有奉深謝候一々拜趨御禮可申上答の處乍略儀以紙上御禮申述度如斯御座候 敬具
 昭和九年五月二十二日
 福島縣平町紺屋町
 嗣子 吉田 久 雄
 親戚總代 佐藤 井 國三 郎
 友人總代 酒井 國三 郎

亡父長左衛門葬送の際は遠路御會葬被下且つ御香奠を賜はり奉深謝候取敢ず以紙上御禮申述候
 五月二十二日
 喪主 菅波富太郎

磐城名物

北海屋の

もちり銘

箱入二十錢より

平町二丁目
北海屋商店
 電話三八八番

新發明 **透明障子紙**

福島、茨城
 宮城、栃木 四縣下一手販賣

平町四丁目
伊勢屋

發賣元 **阿部商店**
 電話四五番

事務員見習招聘

十六才より二十歳まで
 御希望の方は御來談を

平白銀町
石島商會
 電話六五〇番